

鹿児島医セン

鹿児島医療センター（循環器・脳卒中・がん専門施設）

2011.2 vol.59

第一回心臓・血管病市民公開講座を終えて

大雪に見舞われた今年の正月も明けて間もない1月8日（土）、「心臓を守ろう：心臓病の予防と治療の最前線」のテーマの下、当院主催による第一回心臓・血管病市民公開講座が行われました。年明けのあわただしい寒い時期であったにもかかわらず540人程の市民の方々が参加され、健康フェスタではどのセッションにも多くの方々が詰め掛けました。とくに血管年齢のコーナーは長い行列が続き現場が一時混乱するほどでした。栄養部による減塩食の実際、救急蘇生の実際、看護部による血圧測定、自宅血圧計のチェックにも意外なほどの参加者がありました。健康相談も当初2人の医師を準備していましたが、途中で応じきれなくなり急遽さらに2人の医師を補充しなければならない状況でした。講演会は長時間であったにも関わらず多数の方が参加され熱心に聞いていただきました。あらためて心臓血管系への関心の強いことが窺われ



アンケートでは、いずれの企画も大変なためになったという御意見が大半でした。クレームとしては、講演でのスライドで示されるポインターがはっきりせず見づらかった。フェスタは人が多く混んでしまったのもっと広い所でやってほしかった。会場が寒かった。などでしたが、次回は容易に解決できる内容で、大きなクレームはなかったと言っていいでしょう。ただ、大勢の人たちが詰めかけた血管年齢の測定機器につきましては、その信頼性について内外の専門家や文献を今後十分に検討し、場合によっては他の方法による対処を準備しなければと思っております。さらに、会場でいただきました御質問に対しては回答とともにまとめてホームページに掲載する予定です。今回、一つだけ気になっておりますのは、参加いただいた市民の方々の多くは当院の患者さんやその御家族の方々ではなかったかという点です。当院に関係のない市民の方々の参加が増えてこそ本当の市民公開講座



と言えると思います。今後はその点も踏まえて準備をしなければならないと思います。次回の公開講座に向けて、新たに準備委員会を立ち上げ、他の病院の公開講座なども勉強し、時間をかけて周到な準備を始めたいと思っております。私たちは患者と医療者側という最初から不公平な図式による医療に慣れているわけですが、患者になる前、あるいは患者でない市民との対話が行なえることが、これからの医療者にとって要求されることではないでしょうか。



公開講座開催を決定したのが昨年秋で、あまり準備期間もなかったにもかかわらず、医師、看護師、検査部、栄養部、事務部の各部門が必死に努力され、それが合体して一つの大きなエネルギーを形成することができ、そしてそれは市民の方々にも確実に伝わったと思います。各部門が協力することによってこれだけのものが作られるということをお互いが認識し、このことをこれからの病院形成の出発点にしてゆく必要があると強く感じた次第です。

最後になりますが、今回の公開講座に参集いただきました病院のあらゆる領域の方々ここに厚く御礼申し上げる次第です。

(文責：統括診療部長 皆越 眞一)



平成22年度鹿児島医療センター 緩和ケア研修会 鹿児島医療センター主催 鹿児島市の緩和ケア連携に関する懇話会 を開催しました

平成23年1月9日(日)、10日(月・祝日)の2日間にわたり、かごしま県民交流センターに於いて、当院主催の第3回目の緩和ケア研修会を鹿児島県の共催、鹿児島市医師会の後援を得て主催いたしました。



受講者は30名で、2年目の研修医から臨床経験33年の医師18名、看護師8名、薬剤師4名でした。鹿児島保健医療圏の施設の方がほとんどでしたが、医療圏外からも参加いただきました。講師として、県外から、KKR札幌医療センター 緩和ケア科



瀧川千鶴子先生(緩和ケア概論、がん性疼痛の評価と治療を担当)、九州がんセンター 精神腫瘍科 大島 彰先生(精神症状、コミュニケーション講義・ロールプレイを担当)にお越しいただきました。また、県内からも7名の医師、6名の認定看護師の皆さまに講師、協力者としてお世話になりました。当院からも緩和ケア研修会既受講の医師、看護部、薬剤部、緩和ケアチームのメンバーが協力者としての参加、事務部スタッフの運営で滞りなく進行できました。



当院の研修会は昨年から多職種参加としており、医師のみの研修会よりチーム医療を意識した研修会が行えるというのが特徴かと思えます。丸2日間タイトなスケジュールの研修会ですが、事前の受講辞退や欠席者・遅刻もなく、受講者の緩和ケアに対する意識・質の高さを感じました。また、当院のがん系診療科の医師が講師・協力者として参加したことで、当院の緩和ケアの根付きにつながることを期待しております。

今回の研修会での新たな試みとして、初日の最後に「地域連携と治療・療養の場の選択」のセッションを行い、その後に「鹿児島市の緩和ケア連携に関する懇話会」を開催しました。シームレスな緩和ケアの提供は、患者さん・ご家族のQOLを高める上で重要なことと考えられますが、連携を構築することはなかなか難しいところもあります。昨年は、緩和ケアリソース一覧を作成し、当院ホームページ (<http://www.kagomc.jp/etc/kanwakea/index.html>) へのアップ等を行い、好評を得ておりますが、地域連携のためには顔の見える関係作りが大事であるとの意見もよく聞かれます。そこで、研修会を機会に、緩和ケアの連携をさらに深めるために、がん拠点病院の連携室・一般病院の緩和ケアチーム・緩和ケア病棟の相談室・調剤薬局・訪問看護ステーション・在宅医療クリニックのそれぞれの立場から現状と課題の報告を頂きました。その後、意見交換をするための懇話会を開催し、食べ飲みながら顔の見える関係作り、



研修会受講生にも良い機会作りができたのではないかと思います。

毎回、研修会を開催するたびに準備の大変さ、当日の気苦労を感じるのですが、3回目になっても変わることはなく、新たな試みを行い、日常の臨床を行いながらでは大変ではありますが、新たな出会いや気づきは元気を取り戻させてくれます。がん治療の初期段階から緩和ケアを実践するために、「すべてのがん診療に携わる医師が研修等により、緩和ケアについての基本的な知識を習得すること」が重点目標として掲げられており、昨年は鹿児島県で11回の研修会が開催されております。今後、受講生の確保などの問題が出てくるのが予想されますが、来年も同時期に内容をさらに充実させて多職種参加で開催する予定です。多くの皆さまと交流できるよう参加を宜しくお願いします。また、緩和ケアの連携も重要なテーマですので、機会を設けて行きたいと思っておりますので御意見等ありましたら宜しくお願い致します。



最後に、受講者・講師・協力者の皆さまにこの場を借りて皆様にお礼を申し上げ、今後とも御参加および御協力を宜しくお願い致します。

(緩和ケアチームチーフ・耳鼻咽喉科医長 松崎 勉)



新 任 紹 介



心臓血管外科
医

ふくもと よしひろ
福元 祥浩

この度平成23年1月17日付けで県立宮崎病院より当院心臓血管外科に赴任致しました。

以前、
①平成7年4月～平成9年3月(心外・外科レジデントとして)
②平成16年1月～平成21年3月(心臓血管外科医師として)の期間、当院で勤務させて頂いた経緯がありまして今回が3度目の“出戻り”で御座います。
当院の地域医療における中核施設としての責務に微力なりとも心臓血管外科領域で貢献できますよう心機一転、努力する所存でございますので皆様の暖かい御指導・御鞭撻の程、何卒宜しくお願い申し上げます。



第一循環器科
レジデント

いわたの りこ
岩谷 穂子

本年より鹿児島医療センターで勤務することになりました。当院での勤務は初めてのため、慣れないことも多く、御迷惑をおかけすることも多いのですが、早く慣れるように精進しますので、御指導・御鞭撻のほど、宜しくお願い致します。



血液内科
レジデント

つるおが みほ
鶴岡 美穂

平成23年1月より勤務させて頂いております。鹿児島市立病院で初期臨床研修終了後、第二内科に入局し、現在入局一年目になります。3ヶ月間と短い期間ですが、血液内科レジデントとして内科診療に取り組んでいきたいと思っております。慣れないことも多く、皆様にご迷惑をおかけすることもあると思っておりますが、ご指導の程宜しくお願い申し上げます。

3月看護研修のご案内

主催 鹿児島医療センター看護部教育委員会

がんエキスパート研修 「患者・家族とのコミュニケーション/スピリチュアルペインとは」

- 日時：H23年3月16日(水) 14時～16時 ●場所：研修棟 3階 ●対象者：医療関係者
- 講師：MSW 水元 玲子/心理療法士 木ノ脇 真弓/緩和ケア認定看護師 西 里佳

脳卒中エキスパート研修 「作業療法と脳卒中患者の生活支援」

- 日時：H23年3月22日(火) 14時～16時 ●場所：リハビリ棟訓練室 ●対象者：医療関係者
- 講師：作業療法士 吉田 和史

循環器エキスパート研修 「電解質と酸塩基平衡の障害」

- 日時：H23年3月25日(金) 14時～15時 ●場所：研修棟 3階 ●対象者：医療関係者
- 講師：麻酔科部長 原口 正光

集合教育 「救急看護」

- 日時：H23年3月25日(金) 18時半～19時半 ●場所：会議室 ●対象者：医療関係者
- 講師：救急看護認定看護師 伊藤 由加

参加ご希望の方は準備の都合上、各コース3日前までに企画課(松尾)までご連絡下さい。院外の方のご参加をお待ちしています。

電話 099-223-1151 (内線 7303) FAX 099-226-9246



例年になく降雪の多い冬となっていますが、今年にはさらに新燃岳の噴火など不安な日々が続いています。桜島も過去最多の噴火に加えて久しぶりの爆発的噴火など南九州一帯の噴火活動の活発化なども報道されており、一日でも早く終息する日が待たれます。

編 集 後 記

先月は当院では心臓・血管病市民講座や緩和ケア研修会など地域の住民や医療関係者向けのイベントを開催しました。また、来年も計画していますので是非、参加をお願いします。(担当:井上)

■お問い合わせ先 独立行政法人 国立病院機構 **鹿児島医療センター** (循環器・脳卒中・がん専門施設)

〒892-0853 鹿児島市城山町8番1号 (代)TEL 099(223)1151 FAX 099(226)9246

http://www.kagomc.jp

脳卒中ホットライン ▶ **090(3327)5765**

【地域医療連携室】 濱田・今泉・井上・西・森・中島・吉留・木ノ脇・水元・酒井

直通電話▶099(223)4425 フリーダイヤルFAX専用▶0120(334)476

※休日・時間外は当直者で対応します。

